

令和 8 年熊本地震における活動報告

2026 年 8 月 9 日から 12 日まで、当薬剤部の衛藤大輝薬剤師が、大分大学 DMAT の業務調整員として、熊本県八代市へ派遣されました。

派遣期間：2026 年 8 月 9 日～12 日（移動日も含む）

派遣先：八代北部地域医療センター

派遣薬剤師：衛藤 大輝（日本 DMAT 隊員）

衛藤薬剤師からの報告

令和 8 年 7 月 28 日 16 時 27 分頃、熊本県熊本地方を震源とする大規模地震が発生しました。甚大な被害により医療機関の負担が急速に高まり、広域的な医療支援が求められる状況となりました。

私は大分大学 DMAT の業務調整員として、8 月 9 日から 12 日に熊本県八代市の八代北部地域医療センターへ派遣されました。同センターは病院長の「周辺地域すべての患者に医療を提供する」という方針のもと病床稼働率 105%という厳しい状況で運営されており、職員の皆様は連日の対応で疲弊していました。このため、DMAT の医師・看護師・業務調整員がそれぞれの専門性を活かしながら院内業務を支援することが求められていました。

私は通常の業務調整員の役割に加え、救急外来患者の受付、問診、調剤、J-SPEED への入力など幅広い業務を担当しました。特に問診や調剤、J-SPEED への入力では薬剤師としての知識と経験を活かす場面が多くあり、医療チームの一員として貢献できたと感じています。また、大分大学 DMAT は日中だけでなく夜間の救急外来も担当し、複数の救急搬送患者への対応を行いました。

現在、被災地は急性期から慢性期へと移行しつつありますが、地域の医療支援は依然として必要です。被災された皆様が一日も早く安心した生活を取り戻せるよう、心よりお見舞い申し上げますとともに、復興が着実に進むことを祈念しております。

令和 8 年 8 月 24 日

衛藤大輝



衛藤薬剤師（左端）